

第3次刈谷市スポーツマスタープランの見直しについて

1 経緯

国は、令和4年度に新型コロナウイルス感染症、東京2020大会、持続可能な社会や共生社会への移行などの社会状況の変化といった出来事を通じて改めて確認された「スポーツそのものが有する価値」、「スポーツが社会活性化に寄与する価値」を高めるため、第3期スポーツ基本計画を作成した。

本市のスポーツマスタープランは、国、県との計画と整合性を図っていることから、見直しの必要性について検討した。

2 第3期スポーツ基本計画と第3次刈谷市スポーツマスタープランの整合性

(1) スポーツの価値を高めるための第3期計画の新たな「3つの視点」

を支える国の施策ア～ウ

ア スポーツを「つくる/はぐくむ」

国の施策	市のプランとの整合性
柔軟・適切な手法や仕組みの導入等を通じた、多様な主体が参加できるスポーツ機会創出	○
スポーツに取り組む者の自主性・自律性を促す指導ができる質の高いスポーツ指導者の育成	○
デジタル技術を活用した新たなスポーツ機会や、新たなビジネスモデルの創出などDXを推進	×

イ スポーツで「あつまり、ともに、つながる」

国の施策	市のプランとの整合性
施設・設備整備、プログラムの提供、啓発活動により誰もが一緒にスポーツの価値を享受できる、スポーツを通じた共生社会の実現	○
スポーツ団体のガバナンス・経営力強化、関係団体等の連携・協力による我が国のスポーツ体制の強化	○
スポーツ分野の国際協力や魅力発信	○

ウ スポーツに「誰もがアクセスできる」

国の施策	市のプランとの整合性
住民誰もが気軽にスポーツに親しめる「場づくり」等の機会の提供	○
居住地域にかかわらず、全国のアスリートがスポーツ医・科学等の支援を受けられるよう地域機関の連携強化	× (国)
本人が望まない理由でスポーツを途中で諦めることがない継続的なアクセスの確保	○

(2) 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む12の施策

No.	国の施策	市のプランとの整合性
1	多様な主体におけるスポーツの機会創出	○
2	スポーツ界におけるDXの推進	×
3	国際競技力の向上	○
4	スポーツの国際交流・協力	○
5	スポーツによる健康増進	○
6	スポーツの成長産業化	○
7	スポーツによる地方創生、まちづくり	○
8	スポーツを通じた共生社会の実現	○
9	スポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化	○
10	スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材	○
11	スポーツを実施する者の安全・安心の確保	○
12	スポーツ・インテグリティの確保	国・県

(3) 数値目標（成人のスポーツ実施率）

プラン名	第3期スポーツ基本計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン
実施率	70%	65%以上

実績（市）	2016(H28)	2018(H30)	2020(R2)	2022(R4)
	44.6%	38.8%	50.3%	48.1%

見直し 社会状況の変化、プランの進捗状況などに対応するため必要に応じて見直す。